

部局名	上下水道局	所属名	建設課	所属長名	迫 秀信	電 話	483-6328
-----	-------	-----	-----	------	------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	9932		事務事業名称	石綿セメント管更新事業					短縮コード	経常	9932	臨時		
予算区分	会計	62	水道事業会計_資本的支出	款	01	資本的支出		項	02	建設改良費		目	03	改良工事費
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等										
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
国の指導や阪神大震災の教訓から石綿セメント管を耐震性に優れたダクタイル鋳鉄管に布設替えし、水道のライフラインの維持確保。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして							
石綿セメント管を耐震管に更新することが急務となっている。					大項目（節）	04	水道							
					中 項 目	01	水道							
					小項目（施策）	03	災害・環境対策の強化							
					細 項 目	03	緊急時対策の推進							
				実施計画の計画事業	4408	配水管等改良事業								
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		平成17年4月 ～ 平成20年3月		計画事業費		千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	石綿セメント管等の更新							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： 石綿セメント管をダクタイル鋳鉄管への布設替えを8,159.5m実施した。							
	※平成20年度に計画していること： 石綿セメント管からダクタイル鋳鉄管への布設替えを10,000m計画している。							
意図 （何を狙っているのか）	石綿セメント管を地震・災害に強いダクタイル鋳鉄管へ布設替えし、管路の耐震化を図るとともに管網整備を進める。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	18年度	19年度		20年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	石綿セメント管残延長	m	150,213.8	140,213.8	142,054.3	132,054.3	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	計画布設替え距離	m	9,326	10,000	8,159.5	10,000	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	石綿セメント管更新率	%	47.4	50.9	50.2	53.7	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード		9932	事務事業名称	石綿セメント管更新事業			所属名	建設課
			単位	１８年度	１９年度		２０年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円	300,000	300,000	300,000	500,000	
		一般財源	千円	507,198	542,910	357,739	261,535	
		その他	千円	68,169	57,365	28,452	18,915	
	主な事業費の内訳			工事費814,046千円(繰越分112,323千円含)・委託料28,350千円・負担金32,970千円	工事費858,800千円・委託料41,475千円	工事費644,650千円・委託料21,541千円	工事費748,950千円・委託料31,500千円	
	人件費(B)			千円	31,833.9	20,510.8	29,896.7	
トータルコスト(A)+(B)			千円		907,200.9	920,785.8	716,087.7	
							56,315	
							836,765	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由						
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	ライフライン確保は，市の柱であり，同事業はこの施策に結びついている。						
			☐ 結び付くが見直しの余地がある							
			☐ 結びつきが弱い・ない							
			☐ 評価対象外事項							
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	石綿セメント管は，平成１９年度末約１４２km残存しているので，今後も早期達成のため有効的に更新事業を進める。						
			☒ 達成していない							
			☐ 評価対象外事項							
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	水道法により，事業の実施は市が行うものと義務づけられている。						
			☒ 可能性はない							
			☐ 評価対象外事項							
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	耐震性に優れたダクタイル鋳鉄管に更新し，安定した給水を進める。						
			☐ 見直す必要がある							
☐ 評価対象外事項										
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある							
			☐ 効率性向上の可能性はある							
			☒ 両方可能性がある							
			☐ 可能性がない							
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☒ 民間委託等	設計業務委託等の民間委託の拡大。							
								☐ 臨時的任用職員等の活用		
								☐ ＩＴ化等業務プロセスの見直し		
								☐ 受益者負担の見直し		
			☐ 類似事業との統合・役割見直し	類似 事務 事業 名称	１		実施主体 （所管部署）			
			☐ 上記以外の方法		２		実施主体 （所管部署）			
			⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☒ ある	委託拡大のための経費の増加。				
					☐ ない					

コード	9932	事務事業名称	石綿セメント管更新事業			所属名	建設課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			設計業務委託等の民間委託の拡大により、早期完了を図る。		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☒ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止							
☐ 休止							
☐ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			一時的に経費が拡大するが, 成果は向上し早期に目的が達成できる。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☒	
			不 変	☐	☐	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など							
石綿セメント管更新事業の早期完了。							

所属長コメント	耐震性に優れたダクタイル鋳鉄管にすることにより、安全な水の常時安定給水の確保，緊急災害時等の迅速な対応が必要なことから推進に努める必要がある。また，設計委託業務の民間委託の推進を図りたい。						
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続		設計業務委託等の民間委託について，費用対効果を検証し推進すべき。				
	☒ 手法プロセスの改革・改善						
	☐ 事業規模の拡大・縮小						
	☐ 統合・役割見直し						
☐ その他							
☐ 廃止							
☐ 休止							
☐ 現状のまま継続							